

平成30年度第2回燕市障がい者自立支援協議会 会議録

開催日時 平成30年8月10日(金)午後1時30分～午後3時10分

会場 燕市役所

出席委員 15名

協議題

(1) 燕市障がい者基本計画・第4期燕市障がい福祉計画実績報告について
⇒資料番号1により事務局が説明

質問 福祉避難所は、どこまで周知されていますか。地域の避難所は分かりますが、その後はどうなるのですか。必要な人は福祉避難所へ直接行った方がよいのではないのでしょうか。

事務局回答 まずは地域の避難所へ避難していただくこととなります。その後、状況に応じて福祉避難所を開設し、必要な方はそちらに避難していただく流れになっています。災害時には混乱を避ける必要があります。ですので、福祉避難所の大々的な周知は行っておりません。

質問 例年、「こころの健康講座」の広報等の周知はされていますか。

事務局回答 毎年開催前に広報しております。また、チラシの配布も窓口等で行っております。燕商工会議所との共催の会は、商工会議所でも周知していただいています。

質問 資料P2「(2)入院中の精神障がい者の地域生活への移行促進」に、数字が載っていませんが、把握していれば情報提供していただけますか。

事務局回答 正確に把握できるデータがないのが現状です。昨年度、県より地域移行に伴う精神保健医療福祉体制の基盤整備量(推計退院者数)は出されました。そのデータを参考に、次期計画では地域移行促進に向け施策を展開していきたいと考えています。

質問 資料P1「1-4 療育支援体制の構築」の中の『燕市らしい』療育支援とはどういうことですか。

事務局回答 燕市の実態に合った療育の支援体制と考えていただければと思います。

(2) ヘルプカードの導入について

⇒資料番号2により事務局が説明

結果 燕市の方針(案)のとおり進める

質問 今日は、自立支援協議会で5ページにある検討事項を検討するのですか。

事務局回答 今日は、検討事項を検討するのではなく、5ページのタイトルにある燕市の方針(案)のとおり進めていってよろしいかどうかを確認させていただくというものです。

意見 先日、事業所で外出した時に利用者が迷子になりそうになりました。しかし、その人はカードを持っていて、それを提示したら、無事に帰って来れました。そんな出来事からも、ヘルプカードは必要だと思えますから、導入と周知をしていただければと思います。

(3) 療育支援専門部会進捗報告について

⇒資料番号3により事務局が説明

意見1 各機関によって支援のねらいが違うので横の連携は難しいと思います。連携する上で中心になる人（コーディネーター）が必要だと思います。行政が中心となれば支援が途切れないと思いますし、「燕市らしさ」につながるのではないのでしょうか。

意見2 小・中学校は専門家がいるので、わりあい途切れない支援はスムーズだと思いますが、中学校卒業後が心配です。発達障がいの方は、特に継続的な支援が必要だと思います。やはり、行政中心が一番良いのではないのでしょうか。

事務局返答 これからも事例対応をとおして連携のあり方を検討していきたいと思います。

(4) 障がい者雇用の周知促進について

⇒巻公共職業安定所より情報提供。その後、資料番号4により事務局が説明

質問 農福連携事業には、何事業所が参加しているのですか。

事務局回答 5事業所が参加となります。

質問 工業団地付近の交通手段の確保が解決できさえすれば、雇用促進に対する課題は解決するのですか。

巻公共職業安定所 一概には言えませんが、少なくとも交通手段が整えば、雇用促進にはつながると思います。

(5) その他

燕市子ども・子育て会議委員の推薦について

結果 燕市障がい者自立支援協議会として鈴木委員を選出。